

## ひとりからの米づくり

## 「開かれた農場」で畑の仲間を増やす



## #01

近江八幡市

## 百菜農園

ひろべ さとみ  
廣部里美さん

〔農地面積〕1.5ha

〔栽培品目〕米・野菜

〔営農年数〕4年

〔主な販路〕自社サイト・卸  
小売店

ジブリアニメの世界に憧れ、自然と共存できる農業を大学で学ぶ。就職で滋賀に移住をきっかけに、2011年NPO法人で就農、2014年独立。「畑はたくさんの生き物の舞台」をコンセプトに有機農業をする。クールキャラと他にないイベントが参加者に好評。自社サイトで米や加工品を販売する。

<http://shop.100seeds.net>

近江八幡のヨシ繁る水郷地帯北之庄に、一人で新規就農し有機栽培で稲作に取り組み女性がいます。百菜農園の廣部里美さんだ。

福井で生まれ育ち、東京の大学で農業を学んだのち、就職のため滋賀に移住。NPO法人に転籍し、「農のある暮らし」を提案してきた。今は独立して農地を受け継ぎ、小規模でも安定した農業のあり方を模索している。

おばあちゃんっ子だったので、何でもよく知る地域のお年寄りが大好き。農業のことはもちろん、鮎寿しやヨシの葉を使ったちまきの作り方を教わったり、舟に乗せてもらったりして、時には旅人にもその魅力を伝える。

「農家になって尊敬する人に出会えました。今の自分があるのは、見返りを求めず助けてくれた人達のおかげ。米づくりは人との関わりそのもの。学ぶことは多いです」と語る。お年寄り達も、北之庄の自然を愛し、謙虚に教えを乞う廣部さんを温かく見守る。

田植えや稲刈りにSNSで呼びかけると、農業体験したい大学生や社会人、家族連れが手伝いにくる。農業を使わず、魚粉や米ぬかで土づくりされた田畑は、幼い子どもも安心して遊ぶことができる。

また、人通りの多い道路に面した農地には、レンコン畑がある。排水が悪く、地元農家も手を焼く農地にレンコンを植えたのだ。お盆の頃には美しい蓮が咲き、毎年開かれる蓮茶会には、他府県からも若い女性が訪れ、本格的な中国茶とスイーツをたしなむ。蓮の葉でいただく象鼻杯が人気だ。

目下の課題は、収入を増やすこと。独立して貯金の大半は生活費に消えた。米の付加価値を高めるために、ギフト商品「赤ちゃん体重米」の販売に力を入れるが、次の収穫までに売り切れる。規模を拡大しようにも、まわってくる農地は耕作条件の悪い土地が多い。そのため、現在はそれを逆手に農業体験プログラムを企業に提供するなど、増収の方法を模索中だ。

人の往来が増え、畑の仲間がますます増えることに期待する。



イベントでは旬の食材を使った廣部さんの手料理やプロの料理がふるまわれる。



ひとりで収穫しきれないレンコンは、約100人に掘削体験してもらう。



本格的な中国茶を楽しめる蓮茶会。蓮の葉を杯にして茎から茶をいただく象鼻杯(ぞうびはい)が若い女性に人気。

中古の大型機械を買ったら  
修理代でお金が飛んでった…

トホホ



## こぼれ話

一緒にビジネスを  
考える仲間募集中!よそ者が土地を借りるためには、  
信用してもらえ行動力と  
コミュニケーション力が必要。